

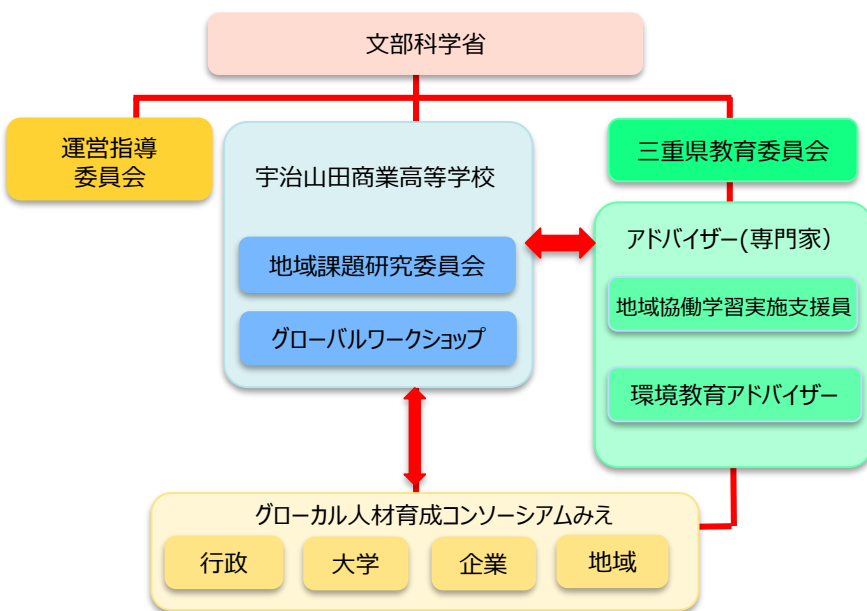
「観光都市with S D G s」～伊勢志摩！未来創造プロジェクト～

1 研究開発の背景

- 伊勢志摩地域においては、人口減少、少子高齢化が進展し、まちの活力が低下することを懸念している。
- そのような中、地域の強みである観光産業に力を入れることで地域産業が活性化され、雇用にも好影響が及ぶことを目指した取組を進めている。
- 本事業では、SDG sの視点を持って自然・歴史・食文化等の魅力あふれる伊勢志摩地域を持続可能な社会として未来につなげるとともに、観光資源豊かな伊勢志摩の魅力を広く国内外に発信したり、新しい観光ビジネスモデル等を創造する力を身に付け将来の伊勢志摩地域を担う「持続可能な未来を創造できるグローバルな視点を持った地域社会のリーダー」を育成するため、研究開発を行う。



2 地域協働体制



3 令和3年度の目標と取組状況

1 SDG s推進プログラム

【目標】課題解決力、論理的思考力、地域への貢献力、語学力の育成

- SDG s基礎プログラム
貧困の根絶（経済・社会開発）と持続可能な社会（環境）の両立等、全教科・科目でSDG sを題材とした授業を実施
- SDG s探究プログラム
科目「課題研究」で、SDG sに取り組む企業や自治体の視察、地域の特産品を活用した商品開発や持続可能な社会の実現に向けたビジネスアイデアの考案、オンラインでSDG sの先進国であるスウェーデンの方と事例について協議
- SDG s語学力向上プログラム
学校設定科目「グローバル・コミュニケーションA・B」において、SDG sの観点に基づいた授業を実施。終日英語のみで会話する学年別英語セミナーや、校内英語スピーチコンテストを開催

2 観光都市を描くプログラム

【目標】企画力、調整力、実践力、突破力、創造力の育成

- 伊勢志摩PRプログラム
 - 科目「ビジネス情報管理」で、海女をテーマにした伊勢志摩PR動画を作成し、「観光甲子園」に応募
 - SDG sの理念に基づき自然資源を生かしたグリーンツーリズムを利用して地方創生を目指す官民の取組を視察するとともに意見交換を実施
 - 三重県の「みえグローバル学生大使」の委嘱を受け、SNSによる三重の魅力紹介や、第2回太平洋島嶼国・日本地方自治体ネットワーク会議に関連したオンライン交流イベントに参加
- 国際交流プログラム
 - オーストラリア姉妹校の生徒とオンラインによる交流を実施
 - フィリピンからの留学生の受け入れ

4 令和3年度の成果と課題

1 SDG s推進プログラム

- 全教科・科目でSDG sを題材に取り入れた授業を展開することができた。
- 取組の視察や商品開発等、コンソーシアムや地域等と連携を深めた取組を実施できた。
- A i G R O Wを活用した測定により、27の内19コンピテンシーで有意性が見られた。課題のあった「実践力」については、令和4年度入学生から総合的な探究の時間を2年次から導入し、継続的な探究活動を展開することで改善を図る。

2 観光都市を描くプログラム

- 自治体や企業を視察しながら、グリーンツーリズムを利用して地方創生を目指す取組等の持続可能で地域の活性化につながるツアーの考え方について学ぶことができた。
- みえグローバル学生大使として、SNSによる三重の魅力紹介や、第2回太平洋島嶼国・日本地方自治体ネットワーク会議に関連したオンライン交流イベントに参加した。
- 海外姉妹校との交流や留学生の受け入れをとおして、国際理解教育を進めることができた。